

米国の特許活動が全体的に鈍化傾向にあるにもかかわらず、
アジア太平洋地域の企業は、米国における特許活動を拡大化している

2016年06月13日

特許業務法人

HARAKENZO
WORLD PATENT & TRADEMARK

1. はじめに

世界規模の特許制度の米国による支配が徐々に崩壊しつつあると言われています。アンチ・パテント（anti-patentee）と思われる法改正と、IPに懐疑的な環境とが組み合わせられ、特許に依存するビジネスと投資とが、一般的に、ますます米国からヨーロッパ等の市場へ向かいつつあります。これは、特許に依存するビジネスと投資とがヨーロッパ等の市場に向かうことによって、近い将来、資産を維持し、または、資産の価値を高めることができると考えるからであると言われています。

上記事情にはありますが、米国の特許活動が全体的に鈍化しているにもかかわらず、アジアの企業は、依然として、US資産を頼りにしているという最近の調査結果があります。これによれば、アジア太平洋地域の主要なハイテック企業の動向は、必ずしも上記のように、特許に依存するビジネスと投資とがヨーロッパ等の市場に向かうというわけではないようです。

このことについて、以下に、説明します。

【全5頁】

本件記事に関し、後続するさらなる詳細情報の知得をご希望されるお客様は、下記の担当者までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。
ご不明点・ご質問等がございましたら、遠慮なくお問い合わせ下さい。

【連絡先】 特許業務法人 HAKKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK

外国専門部長 : 岡部 泰隆 (大阪本部在籍)

外国専門部長補佐 : 新井 孝政 (大阪本部在籍)

TEL : 06 - 6351 - 4384 (代表)

E-Mail : iplaw-osk@harakenzo.com

【免責事項】

当事務所は、本資料のコンテンツの正確性に努めておりますが、これを保証するものではありません。

当事務所は、本資料のご利用により生じた損害・損失について、一切の法的責任を負いません。

【無断複製・転載禁止】

当サイトの掲載物は著作権法で保護されています。無断複製や転載は固くお断りいたします。

特許業務法人 HAKKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK, All rights reserved.